

■ 令和2年度以降入学生用 カリキュラム・マップ ■

(令和3年3月4日更新)

地域創造学環 全学教育科目

学位		学士(文学)																																				
付属情報		◎:特に重要な項目、○:重要な項目、△:望ましい項目										A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3	地域が関連する社会の問題・課題をテーマとしている	地域にフィールドワークや見学等に行くことがある	「地域」の人材リソース(外部講師等)を活用することができる	「地域」が関係する社会の問題・課題解決のための基本的な知識・スキルを身につけることができる								
大区分	中区分	小区分	必修選択	科目NO	授業科目	単位	開講種別	授業目標																														
教養基礎科目	新入生セミナー	1年次	必修	LAFS0101	新入生セミナー	2	演習	このセミナーは大学のシステムや大学での学び方について理解し、研究に必要な基礎的な方法を身につけるとともに、充実した大学生活を送るにあたっての基本的な事柄や社会マナーを知ることと目標とします。										○																				
教養基礎科目	数理・データサイエンス	1年次	必修	LAMD1101	数理・データサイエンス入門	1	演習	現代社会では多様で膨大なデータの活用を通して、社会課題を解決したり、新しい価値を創出する人材が求められています。本授業では、数理・データサイエンスの基本的考え方、統計学の基礎、情報技術の基礎的知識を理解し、今後の学習で数理・データサイエンスを活用した学習ができるようになることを目標とします。また、具体的な社会課題における数理・データサイエンスの具体的な事例を学び、数理・データサイエンスの必要性について理解し、将来社会で数理・データサイエンスを活用の必要性を説明できるようにすることを目標とします。													◎	○																
教養基礎科目	数理・データサイエンス	1年次	必修	LAMD1102	情報処理・データサイエンス演習	2	演習	コンピュータを用いた情報処理は、現代の大学生にとって必須の教養となっています。インターネットを使えば膨大な情報にアクセスできます。また、ワープロや表計算ソフトを使えば見栄えの良い文書や複雑な計算・統計グラフの作成もできます。このような情報リテラシーの習得が、この授業の目的です。													○	◎																
教養基礎科目	英語	1年次	必修	LAEG1101	英語コミュニケーション	2	演習	日常生活および自身の経験や考えについて英語で述べる能力を養う。挨拶、要求、承諾、助言などの基本的なコミュニケーションを図るためのスピーキング能力やコミュニケーション・ストラテジーを身につけることを目指す。また、客観的な指標に基づいて、自身の英語力を把握する。										○								○												
教養基礎科目	英語	2年次	必修	LAEG2101	英語演習	1	演習	基本的な文法事項と語彙を中心に、英語の基礎的能力を充実させる。基礎的な語彙力や文法力を習得する。TOEICで500点以上を取得する。										○																				
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1301	基礎英語A	1	演習	リーディングとリスニングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、大学生として必要となる基礎的な英語力を身につける。										○																				
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1302	基礎英語B	1	演習	リーディングとリスニングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、大学生として必要となる基礎的な英語力を身につける事を目標とします。										○																				
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2301	基礎英語C	1	演習	リーディングとリスニングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、大学生として必要となる基礎的な英語力を身につける事を目標とします。										○																				
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1303	中級英語A	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、大学生として必要となる英語力の基礎を築く。										○										○										
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1304	中級英語B	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、大学生として必要となる英語力の基礎を築く。										○											○									
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2302	中級英語C	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、大学生として必要となる英語力の基礎を築く。										○											○									
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2303	中級英語D	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、大学生として必要となる英語力の基礎を築く。										○											○									
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1305	上級英語A	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語力を身につける。										○											○									
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1306	上級英語B	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語力を身につける。										○											○									
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2304	上級英語C	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語力を身につける。										○											○									
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2305	上級英語D	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語力を身につける。										○											○									
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1307	総合英語 I A	2	演習	これまでの学習で培った基礎的な知識や技能を土台として、総合的な英語運用能力を身につけます。										○																				
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2306	総合英語 I B	2	演習	これまでの学習で培った基礎的な知識や技能を土台として、総合的な英語運用能力を身につけます。										○																				
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2307	総合英語 I C	2	演習	これまでの学習で培った基礎的な知識や技能を土台として、総合的な英語運用能力を身につけます。										○																				
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1308	総合英語 II A	2	演習	これまでの学習で培った知識や技能を土台として、高度な英語運用能力を身につけることをめざす。										○											○									
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2308	総合英語 II B	2	演習	これまでの学習で培った知識や技能を土台として、高度な英語運用能力を身につけることをめざす。										○												○								
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2309	総合英語 II C	2	演習	これまでの学習で培った知識や技能を土台として、高度な英語運用能力を身につけることをめざす。										○												○								
教養基礎科目	英語	3年次	選択	LAEG3301	総合英語 III	2	演習	これまでの学習で培った知識や技能を発展させ、さらに高度な英語										○												○								
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1309	ESP I (留学)	2	演習	これまでに身につけてきた英語力を基礎とし、留学に必要な知識と英語力を身につける。										○												○								

学位		学士(文学)																									
付属情報		◎:特に重要な項目、○:重要な項目、△:望ましい項目							A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3	地域が関与する社会的問題・課題をテーマとしている	「地域」にフィールドワークや見学等に行きついでいる	「地域」の人材リソース(外部講師)を活用することができる	「地域」が関係する社会的問題・課題解決のための基本的な知識・スキルを身につけることができる
大区分	中区分	小区分	必修選択	科目NO	授業科目	単位	開講種別	授業目標																			
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1310	ESP II (地域)	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語運用能力を身につける。																			
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2310	アカデミックイングリッシュ	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、アカデミックな場面を想定した高度な英語力を身につける。																			
教養基礎科目	英語	3年次	選択	LAEG3302	ビジネスイングリッシュ	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、ビジネスの場面を想定した高度な英語力を身につける。																			
教養基礎科目	英語	1~2	選択	LAEG1311	英語インテンシブA	2	演習	留学に必要な基本的な英語のスキル(英語でのプレゼンテーションやレポート作成)を身につけ、実際に(語学)留学した際に現地の語学学校での英語の勉強についていけるように準備をする																			
教養基礎科目	英語	1~2	選択	LAEG1312	英語インテンシブB	2	演習	英語の正しい発音や音のつながり、短縮といった法則を学ぶことで、リスニング力向上を目指す。																			
教養基礎科目	英語	1~2	選択	LAEG1313	英語インテンシブC	2	演習																				
教養基礎科目	英語	1~2	選択	LAEG1314	英語インテンシブD	2	演習																				
教養基礎科目	英語	1~4	選択	LAEG1315	英語海外研修A	2	演習	アメリカ社会に身を置くことで、実践的な英語力を養成する。また、アメリカ人との交流を通し、異文化理解力を深め、国際的な人材になることを目指す。																			
教養基礎科目	英語	1~4	選択	LAEG1316	英語海外研修B	2	演習	カナダ社会に身を置くことで、実践的な英語力を養成する。また、カナダ人との交流を通し、異文化理解力を深め、国際的な人材になることを目指す。																			
教養基礎科目	初修外国語	1年次	選択	LAF1301	初修外国語入門 I	1	演習	外国語の発音、語彙、文法の基本的な知識を学習し、日常生活に最低限必要なコミュニケーション能力を獲得する。授業では社会と文化に関するトピックを取り上げ、異文化理解と外国語学習を融合させる。聞く、話す、読む、書くの技能をバランスよく学ぶことを念頭に教材を選び、受講生の外国語の潜在能力が十分に引き出されるように配慮する。																			
教養基礎科目	初修外国語	1年次	選択	LAF1302	初修外国語入門 II	1	演習	異文化理解を前提とした外国語学習を進め、日常生活に最低限必要なコミュニケーション能力や語学力の向上を目指す。聞く、話す、読む、書くの4技能をバランスよく学び、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、知識と能力を実用的レベルに引き上げることが目標とする。																			
教養基礎科目	初修外国語	2年次	選択	LAF12301	初修外国語 I	2	演習	初修外国語入門 I・II を学習したことを前提にして、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、読解、作文、リスニング、口語での会話練習を行うことで総合的な外国語運用能力の基礎を獲得する。その上で、初修外国語 I では、その後も外国語学習を続けていくための基礎学力としての実用的な文章の読解力を学生が身につけられるように配慮する。																			
教養基礎科目	初修外国語	2年次	選択	LAF12302	初修外国語 II	2	演習	初修外国語 I まで学習を進めた学生を対象に、引き続き、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、読解、作文、リスニング、口語での会話練習を行うことで総合的な外国語運用能力の基礎を獲得する。その上で、初修外国語 II と同様、その後も外国語学習を続けていくための基礎学力としての実用的な文章の読解力を学生が身につけられるように配慮する。																			
教養基礎科目	初修外国語	3年次	選択	LAF13301	初修外国語 III	2	演習	初級文法を一通り理解していることを前提に、これまで学習した初修外国語の基礎を確かなものとしたうえで、より総合的に各言語を学んでいくことになる。各授業にはとくに重視する個別の学習目標がある場合もあり、目標に応じた授業を展開する。リスニング重視、読解力重視、能動的な表現力重視(作文・会話能力)、異文化理解重視などの個別目標の設定が想定されている。																			
教養基礎科目	初修外国語	3年次	選択	LAF13302	初修外国語 IV	2	演習	初修外国語の III までで習得した外国語の知識と能力をもとに、実践的な語学力の獲得を目標に各国語とその言語圏についてさらに学習を進める。各授業にはとくに重視する個別の学習目標がある場合もあり、目標に応じた授業を展開する。リスニング重視、読解力重視、能動的な表現力重視(作文・会話能力)、異文化理解重視などの個別目標の設定が想定されている。																			
教養基礎科目	健康体育	1~4	選択	LAPH1301	健康体育実技 I	1	実技	運動と健康などとの関係をより深く理解し、生涯にわたって運動するため、運動・スポーツを行う基礎的な技術・技能を知識とともに実践的に身につけ、健康的に体力を高めることを目標とする。																			
教養基礎科目	健康体育	1~4	選択	LAPH1302	健康体育実技 II	1	実技	運動と健康などとの関係をより深く理解し、生涯にわたって運動するため、運動・スポーツを行う技術・技能を知識とともに実践的に身につけ、健康的に体力を高めることを目標とする。																			
教養基礎科目	健康体育	1~4	選択	LAPH1303	健康体育演習	1	演習	運動と健康などとの関係をより深く理解し、健康な生活を送る方法を身につけるために、健康科学的な知見を修得し、健康づくりに必要な実践力を高めることを目標とする。																			
教養基礎科目	健康体育	2~4	選択	LAPH2301	スポーツ I	1	実技	健康とは、すべての人が願う心とからだの状態であり、この条件のひとつとして、適度な運動習慣は欠かすことができません。そこで本授業では、共にゲームを楽しみながらスポーツの持つ価値に触れるとともに、必要な知識を習得すること、そして自ら運動を習慣として身につけることをテーマとします。このような姿勢を身につけ、身体面と精神面での健康と社会的実践力を身につける。																			
教養基礎科目	健康体育	2~4	選択	LAPH2302	スポーツ II	1	実技	テニスの実践を通して、その技術と知識を習得し、生涯スポーツへの契機となる。相手チームと競い合い、チームメイトと協力することにより、有能感や達成感を感じ、同じ目的を持つ仲間との協調性やコミュニケーション力を養う。																			
教養基礎科目	キャリアデザイン	1年次	必修	LACD1101	キャリアデザイン	1	講義	大学生活3つの柱である学業・人間関係・将来のキャリアについて考えられるようになる。 生活と学びの基盤となる大学と地域についての知識を増やし、自らの主体的なキャリア形成に活かせるようになる。 世界や日本、地域の経済産業構造の現状について説明できるようになる。 個人の生活環境、労働環境の様々な現代の問題について説明できるようになる。																			
教養展開科目	教養領域A(人文・社会科学)	1~3	選必	LADH1201	哲学	2	講義	私たちが「当たり前」のものとして受け入れている前提を問う哲学的な営みを学ぶことにより、批判的かつ論理的にもとごとを思考できるようになる。																			
教養展開科目	教養領域A(人文・社会科学)	1~3	選必	LADH1202	歴史と文化	2	講義	異なる地域、異なる時代の歴史について学ぶことにより、現在の我々をとりまく社会や環境について比較・考察するための知識や理解力を養うことを目的とする。																			
教養展開科目	教養領域A(人文・社会科学)	1~3	選必	LADH1203	ことばと表現	2	講義	言葉を選択的に表現し正確に理解する能力を育成することにより、思考力・想像力・言語感覚を高めることができるようになる。																			

学位		学士(文学)																																																
付属情報		◎:特に重要な項目、○:重要な項目、△:望ましい項目																																																
大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標										A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3	地域が 関連する 社会的 問題・課 題をテ ーマとし ている	「地域」 に「フィ ールド」 ワーク 等に行 くこと がある	「地域」 の「人材 リソー ス」(外 部講 師等)を 活用す ること がある	「地域」 が関係 する社 会の問 題・課 題解決 のため の基 本的な 知識・ スキル につけ ること がある														
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1~3	選択	LADH1204	日本国憲法	2	講義	①日本国憲法の基本原則である国民主権、基本的人権の尊重、平和主義について理解できるようになる。 ②身近な問題や時事問題を憲法の観点から考えることができるようになる。 ③主権者として国家に対してどのように向き合おうかを考えることができるようになる。										○																																
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1~3	選必	LADH1205	法と社会	2	講義	①法の考え方、法的なものの方について理解する。 ②法にまつわる社会事象について理解し、考察する。 ③刑事系を中心とする法制度・法政策について理解し、考察する。										○																																
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1~3	選必	LADH1206	経済と社会	2	講義	流通と商業、特に小売業と卸売業者の種類および流通システムに関する知識を得、それらをもとに現代社会で起きている様々な出来事に対して深い思考を巡らすことができるようになる。										○																																
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1~3	選必	LADH1207	国際社会と日本	2	講義	国際経済事情を多角的に考察・理解し、グローバルな人材としての現代社会を見る目及び考える力を養うことを目指す。同時に今後日本が取り組むべき課題が何かについて分析し、課題解決能力を身に付ける。なお、この授業を通して、経済ニュースや経済新聞などを読む習慣を身に付けることを期待する。										○																																
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1~3	選必	LADH1208	現代の社会	2	講義	日本の若者が直面している「移行の長期化」という問題、迷惑施設という具体的な問題など、具体的な社会問題を社会学の視点で検討することを養って、現代社会を理解し考える力を養うこと。										○																																
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1~3	選必	LADH1209	心理学	2	講義	私たちの生活に密着した学問である心理学の基礎的な知識を習得する。そして、それらの知識を、自らの今後の生活や研究分野にどのように生かせるのかを考えることができるようになる。										○																																
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1~3	選必	LADH1210	地域と文化	2	講義	グローバル化が進み、多様性や複数性が顕著な文化と地域社会(コミュニティ)についての人文的知見を学習し、他者との共生を図るための視点を獲得する。											○																															
教養展開科目	教養領域A (人文・社会科学)	1~3	選必	LADH1211	芸術論	2	講義	(第1~7回)クラシック音楽の歴史や鑑賞の観点を知り、音楽の特徴を感じながら鑑賞できるようになる。自分の感じた音楽の特徴を文章にまとめることができるようになる。 (第8~14回)舞台芸術作品であるオペラを中心に鑑賞し、それらに関する己の意見が述べられるようになる。										○																																
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1~3	選必	LADN1201	数学の世界	2	講義	高等学校で数学Ⅱは学習したが、数学Ⅲの授業を受けていない(または、数学Ⅲを受けたが落ちこぼれてしまった)学生を対象に、微分と積分の講義をします。										○																																
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1~3	選必	LADN1202	数理の構造	2	講義	身の回りに潜む数学についての知見を深めることができるようになる。具体的には、(1)古典的な数学からの話題を通して、数理論理学の一面を理解できるようになる。(2)数学を専攻しない学生の素養として、数理論理学の考え方の一端を理解できるようになる。の何れかが達成されることを目標とする。										○																																
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1~3	選必	LADN1203	物理の世界	2	講義	科学や物理学に興味を持ち、自分で調べる力を学ぶ。										○																																
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1~3	選必	LADN1204	自然と物理	2	講義	物理学の基礎知識を学ぶことによって、自然の成り立ちと法則を知り、多様な現象に対して物理学的視点から考えて理解を深め、視野を広げる。										○																																
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1~3	選必	LADN1205	化学の世界	2	講義	私たちの身のまわりの様々な製品や食品を化学的な視点で捉え、化学的に説明できるようになる。また、現代に生きる人間として、必要な化学の知識を身につけ、生活の中でその知識を活用できるようにする。										○																																
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1~3	選必	LADN1206	生活の科学	2	講義	我々が生活してゆく上で切なる化学の知識を広く身につける。分子を通して広く化学に関心を持てるようになる。										○																																
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1~3	選必	LADN1207	生命科学	2	講義	生命(植物、動物、微生物)についてミクロからマクロまで様々な視点で理解すること。生物は多様な環境の中で生育し、様々な形質をもって適応している。生物の環境への適応戦略の仕組みを知り、理解することで人文、社会、教育学への応用につなげることができるようになる。また、進歩が目まぐるしい現代生物学の基礎について、それぞれの項目を専門とする教員が簡単な言葉で授業を行うことにより、生物学の知識がほとんどない学生でも生命科学の基礎と応用を学ぶことができる。										○																																
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1~3	選必	LADN1208	生物と環境	2	講義	多様な環境に生育している生物の環境応答や適応戦略の仕組みを理解することで、様々な問題に対処するための考え方を身に付ける。生物の有する価値や命の営み、生態系の保全など生物に関する情報に対する視座を自ら構築し、自らが世界の中でどのような存在であるか思いを馳せる能力を獲得する。										○																																
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1~3	選必	LADN1209	地球科学	2	講義	現代日本の生活者として必要最小限の地球科学の最新知見を身につける。地球システムが人間社会へ与える影響や、社会と自然の関わりについて理解できるようにする。我々が生活している環境がどのようなメカニズムで作り出されているのか、その科学的背景への興味・関心を抱きつなげられる。										○																																
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1~3	選必	LADN1210	進化と地球環境	2	講義	地球環境と生物進化について、それぞれの概要、背景、成立原理を学び捉えて理解することを目標とする。										○																																
教養展開科目	教養領域B (自然科学)	1~3	選必	LADN1211	科学と技術	2	講義	科学と技術を多角的な視点で捉え、理系学生にも文系学生にも科学と技術がいかに現代社会にかかわっているかを理解し、広い視野を持てるように涵養することを目的とする。										○																																
教養展開科目	学際領域A(地域 志向科目)	1~3	選必	LAIA0000	<各科目>		講義・ 演習 又は実 習	対象物を理解する上で、それを様々な切り口から、多面的に理解することはその対象物の本質を理解する上で欠かせない視点である。 この学際科目では文理系の垣根に囚われず、様々な分野から一つの対象物について深く学び、理解を深めることができる。特に地域志向科目では対象物を身近な物事に絞って、理解を深めることができる。										○																																
教養展開科目	学際領域B	1~3	選択	LAIB0000	<各科目>		講義・ 演習 又は実 習	対象物を理解する上でそれを様々な切り口から、多面的に理解することはその対象物の本質を理解する上で欠かせない視点である。 この学際科目では文理系の垣根に囚われず、様々な分野から一つの対象物について深く学び、理解を深めることができる。										○																																

学位		学士(文学)																												
付属情報		◎:特に重要な項目、○:重要な項目、△:望ましい項目																												
大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3	地域 が関与 する社会 の問題・ 課題・課 題をテマ としている	「地域」 にフォー クシング や見学 等に行っ ている	「地域」 の人材リ ソース (外部講 師等)を 活用する ことがあ る	「地域」 が関係 する社会 の問題・ 課題解 決のため の基本的 な知識・ス キルを身 につける			
人文社会科学部		2~3年次	共	RDRS2317	障害・福祉心理学(福祉心理学Ⅱ)	1	講義	心理学、精神保健福祉学の領域における専門的知識と探究方法の学びを通じて、さまざまな条件における多様な人間のあるり方について深く理解し、他者への肯定的関心と共生への志向を高め、協働的対人関係能力の基礎を、こころ、人権意識と共生を基礎とする市民としての責任と人権理解する態度を醸成する。	◎	○	○	◎	△		○					△		○								
人文社会科学部		2~3年次	共	RDRS2318	男女共同参画論	2	講義	男女共同参画に関する基本的な知識と考え方を身につける。 男女共同参画を自らの問題として捉え、社会のあり方を多面的に考える力を身につける。	◎	○	○	△			△	○	△	△	△	△	△	○	○	○						
人文社会科学部		2~3年次	共	RDRS2319	コミュニティ心理学	1	講義	現代社会における心理支援の考え方と方法について、コミュニティ心理学の観点から検討する。	◎	○	○	◎	△		○						△		○	△	○					
人文社会科学部		2~3年次	共	RDRS2320	健康・医療心理学	1	講義	心身の健康問題に焦点を当て、予防的介入・医療治療・リハビリテーションといった保健・医療・福祉領域における切れ目のない支援のあり方について理解し、説明できるようにする。	◎	○	○	◎	△			○					△		○		○					
人文社会科学部		2~3年次	共	RDRS2321	社会・集団・家族心理学	2	講義	社会心理学の知識と探究方法の学びを通じて、さまざまな条件における多様な人間の心のあるり方について深く理解し、共生への志向を高める。(専門知識:60%、探究方法:20%、多様共生:10%、社会実習:10%)	◎	○	○	◎	△		○						△		○		○					
人文社会科学部		2~3年次	共	RDRS2322	家族とジェンダーの社会学	2	講義	家族・ジェンダーという切り口から、社会の制度、文化を理解する能力を身につけることを目指します。データを解釈・分析し、論理的に考え、社会学の探究方法を身につける基礎力を養います。(専門知識:40%、探究方法:20%、多様共生+社会実習:20%、論理思考+読解表現:20%)																						
人文社会科学部		2~3年次	共	RDRS2322	仕事の社会学	2	講義	社会階層論を軸として、産業・労働社会学、教育社会学、家族社会学の成り立ちを取りながら、仕事・働くことと社会的不平等についての社会学的なものの考え方を身につける。また、さまざまな実証研究の知見を読み解くことで、リサーチ・リテラシー(調査データを適切に読み解く力)を涵養することを副次的な目標とする。	○	◎	○	○	○		○					○										
教育学部		3年次	共	RDRS3302	消費者市民教育論	2	講義	本授業では、消費者教育を行う専門人材の育成という視点から、そのために必要な基礎的能力や実践的能力の育成をめざす。	○	◎	○					○	○	△					○							
情報学部	RDRS3303	3年次	共	RDRS3303	家族福祉政策論	2	講義	「福祉」を家(理解)したうえで、生活者の視点からコミュニティをデザインをしていくために必要な傾向と課題を知ることを本講義の目標とする。本講義で学ぶ福祉は、人々を幸福にするための制度・政策・実践などを意味する極めて広範の概念であり、いわば共生社会を伴って行われてきたための実践を意味する。授業では、現在の日本の福祉制度・福祉政策を学ぶとともに、社会的な課題を具体的に考える。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○				○	○	○	○	○	○					
教育学部		1年次	環防	RDRS1315	地誌学概論	2	講義	本講義は、1年次に開講されることもあり、地理学の入門としての性格が強い授業である。高等学校で「地理」に触れることの少なかった受講生が、地理学を学ぶために必要な能力を身につけることを目標とする。受講生自らが我が国の諸地域に関する調査を行い、発表することを通じて、地域性を見出すことができるようにする。				◎																		
農学部		1年次	環防	RDRS1316	生態学入門	2	講義	現在直視している全ての環境問題に関する基礎知識である生態学の基礎をマスターし、環境の動きが予測される未来において、科学的で適切な判断・行動ができるようにする。環境保全や環境問題に関わる職業を目指す人には、必要不可欠なスキルのひとつを身につけることになる。		○	◎	○			△	○								○						
農学部		1年次	環防	RDRS1317	生活の中の物理	2	講義	高校で物理を習ったことのある学生でも、現代社会の中でどのような環境で物理学的によりもたらされた知恵が生きているのか、すぐに答えられる人は少ないだろう。物理学を身近に感じよう。日常生活の中の物理について学ぶ。学ぶを進めると、高校までの物理とは全く異なる「たがやん」により、大学初等物理の知識の習得を目指す	○	△	◎																			
農学部		1年次	環防	RDRS1318	数値解析基礎	2	講義	自然科学を学ぶために必要な最小限の数学と数値解析手法の基礎を能動的に身につけることを目標とする。				○	◎	△																
全学教育科目		1~3年次	環防	RDRS1319	実践からの防災行政論	2	講義	近年、社会環境の変化に伴って多様な災害事象が発生している。これら多様な災害に備えるため、防災に関する基本的な法律体系や制度、行政システム、地域社会の仕組みを理解し、将来発生する大規模災害や様々な危機への対応を客観的に判断できる基礎的な知識と柔軟な思考を身につける。	◎	◎		△			○	△					△		△							
全学教育科目		1~3年次	環防	RDRS1320	地球科学	2	講義	静岡県はプレート沈み込み帯に位置する。まずは地球の誕生とプレートテクトニクスを概観し、マントルと地物の構造相転移について学習する。その後、地球を構成する物質の振る舞いについて学ぶとともに、沈み込み帯の環境について学習する。	○	◎	◎	△													△					
人文社会科学部		1~3年次	環防	RDRS1321	環境共生と地域の社会学	2	講義	地域における自然環境と人間の共生のあり方について、環境社会学の観点からどのように理解するか、台成形成のあり方も含め、必要な知識、認識枠組みを習得し、それを用いて、具体的な事例について分析できるようにする。	◎							◎		△				△		△						
人文社会科学部		1~4年次	環防	RDRS1308	環境政策	2	講義	①環境問題への諸政策の現状や課題につき、的確に理解できる。 ②自ら理解した内容を整理し、論理的に文章としてまとめることができる。 ③地域の環境問題に關心を持ち続け、社会に出ても学び続けられるための基礎的知識を身につける。 ④地域圏間における環境問題に共通することの重要性を理解できる。		◎	△				◎	○							△		○					
理学部		2年次	環防	RDRS2324	地球ダイナミクス概論Ⅰ	2	講義	地球のダイナミクスを理解する上で重要な沈み込み帯での物質循環と、地震・地殻変動の力学やスケール間関係を学び、それらをもとめて日本列島で起こる様々な現象を理解する。				◎																		
理学部		2年次	環防	RDRS2325	地球ダイナミクス概論Ⅱ	2	講義	地球のダイナミクスを理解する上で重要な沈み込み帯での物質循環と、地震・地殻変動の力学やスケール間関係を学び、それらをもとめて日本列島で起こる様々な現象を理解する。				◎																		
理学部		2年次	環防	RDRS2326	生物環境科学概論Ⅰ	2	講義	生物界の成り立ちを地質学的時間スケールで理解するための基礎を身につける。				◎																		
理学部		2年次	環防	RDRS2327	生物環境科学概論Ⅱ	2	講義	生物と環境の関わりを理解するための基礎を身につける。				◎																		
工学部		2年次	環防	RDRS2328	環境化学	2	講義	地球環境の変遷とメカニズム、環境問題の原因、対策技術、課題を通して地球環境問題の取組に対する化学及び工学の重要性を理解し、環境についての理解と意識を高める。				◎																		
農学部		2年次	環防	RDRS2329	環境社会学	2	講義	「環境問題の解決」と一口に言っても、具体的な相を指しているのだろうか、少なくとも、そもそも「問題」と呼ばれているもの自体は何なのか、それに対して何が必要なのかを見極めなくてはならない。また、こうした問題の多くは、現場ごとに様々な特徴を持っているのでマニュアルに決まった正解があるわけではない。そのため、問題解決を目指す際には、現場から学ぶという姿勢が必要となる。したがって、この講義では、環境社会学の導入とともに「環境と社会」という観点から多岐にわたる「環境問題」の事例を題材とし、その解決に向けて必要な知識を身につけることを目指す。				◎																		
全学教育科目		2~3年次	環防	RDRS2330	公共施設デザイン論	2	講義	私たちの暮らしを支える道路、橋梁、河川、海岸、港湾、砂防など様々な公共施設の計画から設計に関する考え方、さらに都市計画や交通計画の手法についてその概要を学ぶことにより、社会実習やまちづくりをデザインする上での基礎を身につける。	◎	○		△				○	△					△								
全学教育科目		2~3年次	環防	RDRS2331	地域社会と災害	2	講義	静岡県では災害という地震災害が目向きがちな地域だが、風水害をはじめとして、災害には様々な姿がある。受講生は本講義の受講を通じて、次のような知識、態度を身につけることを目標とする。(1)自然災害の基本的な性質を理解し長期的かつ広い視野から災害を見ることができるようになる。(2)自然災害をとりまく様々な自然現象(ハザード)の基本的なメカニズムと、災害との関係について理解することができる。(3)地震災害を主な例として、被害を軽減するための技術、社会的な制度の現状と課題について理解することができる。(4)社会の一員として活動していく中で、日々の仕事や日常生活の中に、防災に関する視点を持つようになる。	○	◎														△		○				
全学教育科目		2~3年次	環防	RDRS2332	地震防災	2	講義	地震防災はさまざまな分野にまたがる総合科学であり、数十年にわたり地震に対する注意が呼びかけられ、対策が進められてきた静岡県で生活する学生にとってこれを学ぶことは極めて重要である。受講生は本講義の受講を通じて、次のような知識、態度を身につけることを目標とする。(1)地震を中心に、災害をもとら自然現象(ハザード)の基本的メカニズムと、災害との関係について理解することができる。(2)地震災害を主な例として、被害を軽減するための技術、社会的な制度の現状と課題について理解することができる。(3)社会の一員として活動していく中で、日々の仕事や日常生活の中に、防災に関する視点を持つようになる。	◎	○		△											△		○					
全学教育科目		2~3年次	環防	RDRS2333	災害時におけるリスク危機マネジメント	2	講義	防災・減災を考えるときに必要不可欠な科学的な基礎知識を把握するとともに、災害時あるいは災害時に必要な防災スキルについて体験・理解する。	◎	○						○	○	△	△				○		○					
全学教育科目		2~3年次	環防	RDRS2334	静岡県の防災・減災と原子力	2	講義	静岡県は東海地震想定域に位置しているとともに、中部電力浜岡原子力発電所を有している。そのため、長期的なエネルギー問題と原子力の在り方についてみながら考える(機会を持つ)ために、防災・減災(特に原子力防災・減災)の在り方について理解を深め、原子力の在り方について学生自らの問題として理解し、考えることができるようになる。	○	◎															○					
人文社会科学部		2~4年次	環防	RDRS2335	環境と経済	2	講義	①環境と経済・経営にかかわる諸概念を的確に説明できる(ウェイト40%)。 ②環境と経済・経営にかかわる諸概念を多面的・論理的に考察し、その本質を理解できる(ウェイト35%)。 ③自らの考察の過程と結論を言葉で正確に説明することができる(ウェイト10%)。 ④他者の意見や考えに真摯に傾聴し、意見交換や意見発表を行うことができる(ウェイト5%)。 ⑤自らの意見や考えを他者に論理的・効果的に伝えることができる(ウェイト5%)。			○	◎	◎				△	◎	○			○	○	△	△	○	○			

学位		学士(文学)																											
付属情報		◎:特に重要な項目、○:重要な項目、△:望ましい項目																											
大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標																					
								A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3	地域が 関連する 社会の 問題、課 題をテー マとして いる	「地域」 にフォー クワや見 学等に行 くことが ある	「地域」 の人材リ ソース(外 部講師等 を活用可 いがある	「地域」 が関係 する社会 の問題、 課題解 決のため の基本的 な知識・ス キルを身 につける			
教育学部		2～4年次	環防	RDRS2336	自然災害学	2	講義	① 自然災害全般に関する基礎的な知識と考え方について学ぶ。(ウェイト10%) ② 地震・津波に関する基礎的な知識について学ぶ。(ウェイト40%) ③ 防災・防災に関する専門的知識について学ぶ。(ウェイト40%) ④ 学習した知識・知見を活用し、地域の防災対策や防災教育に関わる課題の解決に必要な情報を、自分なりに収集・整理することができる。(ウェイト20%)	△	◎	○	△		△															
教育学部		3年次	環防	RDRS1304	地理学研究法	2	講義	地理学や地理教育の調査・研究に必要な分析技能を習得することを目的とする。			◎																		
工学部		3年次	環防	RDRS3305	流体環境工学	2	講義																						
農学部		3年次	環防	RDRS3306	自然遺産の保護と活用	2	講義	① 世界遺産などのユネスコの環境保護・地域振興政策の学びを通じ、地域の環境や防災の担い手として必要な、文化・芸術・社会・自然に関する知識を統合し、教養の幅を広げる。(ウェイト20%) ② ユネスコの世界遺産・地域振興政策に関する専門的知識や技術を積極的に学び、実際の地域の防災課題と関連づけることができる。(ウェイト50%) ③ 地域の環境や防災に関する問題・課題の解決に必要な情報を、学習したユネスコの環境保護・地域振興政策に関する専門的知識や手法を活用し、自分なりに調査・収集・整理することができる。(ウェイト20%) ④ 収集した地域の環境や防災に関する情報を基に、自分なりに因果関係を分析し、環境保護・地域振興政策に関わる地域の課題を発見することができる。(ウェイト10%)	△	◎	○	△		○	△	△						○	△	△					
農学部		3年次	環防	RDRS3307	防災科学実習	1	実習	① 防災科学技術と防災対策に関連する基礎的な知識について学び、地域の防災の担い手として必要な知識と教養の幅を広げる。(ウェイト20%) ② 防災科学技術と防災対策に関連する専門的知識・知見を活用し、実際の地域の防災課題と関連づけることができる。(ウェイト50%) ③ 学習した防災科学技術と防災対策に関する専門的知識・知見を活用し、地域の防災に関する課題の解決に必要な情報を、自分なりに収集・整理することができる。(ウェイト20%) ④ 収集した情報を基に、自分なりに因果関係を分析し、防災科学技術と防災対策に関わる地域の課題を発見することができる。(ウェイト10%)	△	○	◎	◎			○	△	△						△	△	△				
農学部		3年次	環防	RDRS3308	自然災害と現代社会	2	講義	① 自然災害とその対策に関する基礎的な知識について学び、地域の防災の担い手として必要な知識と教養の幅を広げる。(ウェイト20%) ② 最近の国内外の顕著な自然災害の経緯と対応事例に関連する専門的知識・知見を積極的に学び、実際の地域の防災課題と関連づけることができる。(ウェイト50%) ③ 学習した自然災害とその対策に関する専門的知識・知見を活用し、地域の防災に関する課題の解決に必要な情報を、自分なりに収集・整理することができる。(ウェイト20%) ④ 収集した情報を基に、自分なりに因果関係を分析し、防災対策に関わる地域の課題を発見することができる。(ウェイト10%)	○	◎		○	△		◎	△	○							○		△			
教育学部		3～4年次	環防	RDRS3309	学校におけるリスク管理	2	講義	学校における様々なリスクとその性質を把握した上で、リスクマネジメント、リスクコミュニケーションの考え方と方法を理解することで、児童生徒に安全な環境を提供する質の基礎を得る。														○							
教育学部		3～4年次	環防	RDRS3310	地球・宇宙システムⅡ	1	講義																						
理学部		3～4年次	環防	RDRS3311	放射線計測・管理学概論	2	講義	放射線計測・管理学についての基礎知識を習得する。																					
人文社会科学部		1年次	ア	RDAM2312	アートマネジメント概論	2	講義	地域社会の担い手として必要な芸術、文化、社会、自然に関する幅広い教養を身につけ、それらをアートマネジメントに関連する事項において知識探求することができる。 ・アートマネジメント分野において必要な専門的かつ応用的な知識と技術を身につけている。 ・アートマネジメント分野における基礎理論、技術に関する素養を有している。 ・地域で展開されるアートプロジェクトの問題、課題に自ら積極的に関わりを持ち続け、卒業後もそれに取組みようとする意欲を有している。	◎	◎				○	○	△	△					◎							
人文社会科学部		1年次	ア(サ)	RDAM1302	情報意匠論	2	講義	主に持問内を中心とした文化芸術に係わる団体と連携し、各活動における現状と課題、今後の展開等をインタビュー形式で掘り起こしていく貴重な機会となります。現場の足音を感じつつ、インタビューをするとはどういうことなのかを合わせて学習していきます。	○			○			△			○	◎	◎									
人文社会科学部		1～3年次	ア(共)	RDAM1303	多元的共生社会論	2	講義	人や集団間の関係性に関する多元的な側面－互恵可能性、その複雑性に焦点を当て、私たちが生きるこの社会と人間関係の在り方より深く理解し、あるべきオルタナティブな共生社会のビジョンを指向することを目標とする。	◎	○	◎				○	△													
人文社会科学部		1～3年次	ア(経)	RDAM1304	地域経営Ⅰ	2	講義	① 都市経済論、経営学を背景とした地域経営の視点を学び、地域課題解決の成功事例に対して、その背景にあるニーズが理解できるようにする。 ② 自分自身が関わる地域において、その課題に関心を持ち、分析・説明ができるようになる。	○	○		○																	
人文社会科学部		2～4年次	ア(経)	RDAM2301	地域経営Ⅱ	2	講義	現在、我が国の地域は、経済面や社会面など様々な面から危機的な状況と置かれている。こうした中、本講義では都市経済論・経営学の視点から地域経営に係る成功事例の検証を通じてその背景にあるメカニズムを学ぶことを目的としている。この学びを通じて地域経営の基礎的な知識を身につけ、自らの地域が抱える様々な課題を自ら見出し、分析・説明が出来ることを目標とする。	○	○	○																		
教育学部		1年次	ア	RDAM1305	絵画実践研究Ⅰ	2	演習	現代美術の作品制作において重要な位置を占めるドローイングの制作を通して、自らの表現を探求する。ドローイングを制作するための素材やモチーフについて考察し、表現の質を高める。	◎	◎	◎			△		△			○	○	○	○	○	○					
教育学部		2年次	ア	RDAM2302	絵画実践研究Ⅱ	2	演習	絵画実践研究Ⅰで習得したドローイングから展開したペインティングやインスタレーション等の作品制作を実践する。展覧会形式でプレゼンテーションを行い、作品を発表する能力を養う。	◎	◎	◎			△		○			○	○	○	○	○	○					
教育学部		3年次	ア	RDAM3301	絵画実践研究Ⅲ	2	演習	絵画実践研究Ⅰ・Ⅱにおいて実践したドローイングに基づいた作品制作の最大規模として、ペインティングやインスタレーションなど独自の表現を追求する。作品のコンセプトを文章化し、作品とコンセプトの関係性についての考察を深める。	◎	◎	◎			△		○			○	○	○	○	○	○					
教育学部		1年次	ア	RDAM1306	デザイン実践研究ⅠA	2	演習	① コンピュータアプリケーションのトレーニングを行い、イメージしたものを複製化できる。 ② デジタルデザインと社会との関わりを考察し、自らの考えや価値を述べることができる。 ③ 自らの作品と他者の作品を比較しながら、意見交換や適切なアドバイスを行うことができる。	○	○	◎		○	◎	△	◎				○	○	○	○	△	△				
教育学部		1年次	ア	RDAM1307	デザイン実践研究ⅠB	2	演習	① あらゆるデザイン事例について積極的に関心することができる。 ② 私たちが生活の中にあるデザインを認識し、自らを批判的に考察することができる。 ③ 既存のデザイン事例を鑑賞することで、デザインの役割を説明することができる。 ④ 地域社会の中で、今後求められるデザインの在り方について自分の意見を述べることができる。	◎	○	◎			○	◎	○	△	△			○	△	△						
教育学部		2年次	ア	RDAM2303	デザイン実践研究Ⅱ	2	演習	① モノノコのデザインのそれぞれの特性について説明できる。 ② ①の認知や行為を理解し、デザイン提案の中で応用することができる。 ③ 自らのアイデアに基づいて具体化・表現することができる。 ④ 地域社会や企業と積極的に意見交換や価値観を共有することができる。 ⑤ 自らの意見や考えを他者に論理的・効果的に伝えることができる。						◎	◎	○	○	◎	◎				○	△	△				
教育学部		3年次	ア	RDAM3302	デザイン実践研究Ⅲ	2	演習	① デザインの手法を整理し、テーマを視覚化しながら現代生活へのデザイン提案をすることができる。 ② 地域問題に関する企画力の重要性に留意し、社会的視点からデザイン提案、デザイン評価できる。	○			○	△	◎	◎	◎	△					○		△	△				
教育学部		2年次	ア	RDAM2304	彫刻実践研究Ⅰ	2	演習	① 公共空間における彫刻作品の位置と近年の傾向について理解する。 ② 地域社会のコミュニティ作品の現状調査から具体的な課題を把握し、課題解決に向けた作品アイデアを論理的に考察できるようにする。 ③ アイデアをもとにラフスケッチでのマッシュアップを行い、専門的な造形手法を習得する。 ④ マッシュアップ、文章、その他視覚的表現により効果的・印象的に課題解決の提案を述べるようになる。	○	◎	◎	○					△						○	△	△				
教育学部		3年次	ア	RDAM3303	彫刻実践研究Ⅱ	2	演習	① 「インスタレーション」「サイト・スペシフィック」について理解する。 ② 特定の場での作品展開を実験的に考察し、場の特性を活かした作品を創出できるようにする。 ③ 他者と協力し、作品を展覧会形式で効果的に展示し、発表できるようにする。																○	△				
人文社会科学部		2～3年次	ア	RDAM2305	文化施設概論	2	講義	・地域社会の担い手として必要な芸術、文化、社会、自然に関する幅広い教養を身につけ、それらをアートマネジメントに関連する事項において知識探求することができる。 ・劇場運営の分野において必要な専門的かつ応用的な知識と技術を身につけている。 ・劇場運営の分野における基礎理論、技術に関する素養を有している。	○	◎					○	○	△					△	○						
人文社会科学部		2～3年次	ア	RDAM2306	文化施設各論	2	講義	劇場運営の分野において必要な専門的かつ応用的な知識と技術を身につけている。 劇場運営の分野における基礎理論、技術に関する素養を有している。 地域の劇場等公共施設運営における問題、課題に自ら積極的に関わりを持ち続け、卒業後もそれに向き合おうとする意欲を有している。	○	◎					○	△						◎	◎	○	○				
全学教育科目		2～3年次	ア(サ)	RDAM2307	NPO・ボランティア論	2	講義	ボランティア活動、ボランティア団体、NPO活動、NPO法人に関する理解を深める。	○	○	△				○	○	△					○	○						

学位		学士(文学)																				地域が関係する社会問題の解決のための基本的な知識・スキルを身につける								
付属情報		◎:特に重要な項目、○:重要な項目、△:望ましい項目																				地域が関係する社会問題の解決のための基本的な知識・スキルを身につける								
大区分	中区分	小区分	必修選択	科目NO	授業科目	単位	開講種別	授業目標										地域が関係する社会問題の解決のための基本的な知識・スキルを身につける												
								A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3	地域が関係する社会問題の解決のための基本的な知識・スキルを身につける							
教育学部		2～3年次	ア	RDAM2308	美術史研究Ⅰ	2	講義	美術史の役割について理解する	○			◎		△	○															
教育学部		3～4年次	ア	RDAM3304	美術史研究Ⅱ	2	講義	「見る」ということ、より審美的、意図的に見るように習慣づける。 見るという行為は、意図的、能動的な姿勢によって可能となることに気づくことができる。 より深く見ることで、より深く考えることができるようになる。 「見たもの」について、自分なりの感想や考えを、文章で述べるようになる。 いくつかの美術品、美術作家について美術史学の研究を踏まえながら説明し、自分の考えを述べる。 美術制作などでの実践について、考えを述べるようになる。																						
教育学部		2～3年次	ア	RDAM2309	書文化制作実践	2	演習	書の特徴を理解して、多様な表現方法を学び、造形性、空間性、文字性など、重視するテーマに沿った書作品を創造する。																						
全学教育科目		2～4年次	ア	RDAM2310	文化政策論	2	講義	国内外における文化政策の基本的な理論、歴史、制度などを学び、特にミュージアムや芸術祭の具体的な実践の事例から文化政策が果たすべき役割を認識することで、身近な文化事業などに対して適切な問題意識をもって考察することができるようになること。	◎	◎	◎			◎	△	△					○	○	○							
人文社会科学部		2～4年次	ア	RDAM2311	演劇文化論	2	講義	・世界と日本の演劇史を学ぶ ・地域において演劇、演劇の果たすべき役割について考える	◎	◎	◎	◎			△	△	△					○								
人文社会科学部		2～4年次	ア	RDAM2312	アートマネジメント各論	2	講義	様々な分野を横断して相手側の状況や課題とアートをつなぐ必要性を学ぶ	○	○	○	○	○	○	△	△	○					◎								
教育学部		2～4年次	ア	RDAM2313	音楽文化論	2	講義	(後援担当) ①音楽(主にクラシック音楽)についての基礎的知識を身につけ、能動的に音楽を聴いたり音楽について考えたりできるようになる。(ウェイト40%) ②地域の公共文化施設の抱える課題を知り、どうしたら問題解決できるのか自分なりの意見を持ち発言できるようになる。(ウェイト30%) ③演劇・音楽公演を行うためにはどのような準備や調整が必要なのかを知り、自分なりに音楽公演を構想することで、魅力的な音楽公演とはどのようなものか、考えることができるようになる。(ウェイト30%) (宝塚担当) ④様々な舞台芸術を鑑賞することにより、教養を身につける。																						
人文社会科学部		3～4年次	ア	RDAM3305	アートマネジメント特論	2	講義	文化・芸術活動を通して、人ほどつながりをもつ幸せになれるかという根本的な問いに対して考えを述べ、本授業を位置づけ、学生が主体となって運営に関わる。その方法として2020年リンピック・パワリシビリティ文化プログラムの採択団体へのインタビューを行う。また、本授業の気づきや体験を自分だけのものとして発信し、ポテンシャルを伸ばすことができる。	○	○	○	◎			△				○	◎	◎		△							
人文社会科学部		3～4年次	ア	RDAM3306	文化施設管理運営演習	2	講義	・地域現場との豊富な関わりの中で、地域の問題・課題について多面的かつ論理的に考察し、その本質を理解することができる。 ・歴史的背景と現場かつ総合的な判断により、地域課題・課題の具体的な解決・対応策を立案・立案することができる。 ・多様な地域の人々に対し、自らの考えや判断を論理的かつ効果的に伝え、また文章で効果的、印象的に表すことができる。 ・他者の意見や考えを真摯に聴くことにも、柔軟性を持って他者と意見交換や意見調整を行うことができる。 ・他者から多様な意見やアイデア、動機などを効果的に引き出し、話し合いをもとに具体的な行動計画の構築がけができる。	○	○	○	◎			△	◎	◎					○	○	△	○					
教育学部		3～4年次	ア	RDAM3307	書道フィールドワーク	2	演習	地域の人(主に児童生徒)を対象に、書写・書道や書字の機会を確保するための企画・準備を行う。実践結果をふまえて、「書字活動」の意義と可能性を考へる。																						
教育学部		3～4年次	ア	RDAM3308	芸術鑑賞演習	2	演習	・近隣の文化施設で様々なジャンルの芸術作品を鑑賞の機会を重ね、視点を獲得する。 ・芸術に関する知見を広げ、作品の魅力が伝わる。	◎	◎	◎				△	△		△	△	○	○	○	△	△						
教育学部		3～4年次	ア	RDAM3309	ワークショップ演習	2	演習	・ワークショップの定義を理解し、説明できる。 ・様々な芸術に係る分野への視野と経験感を拡大する。 ・文化施設等で行われている普及事業についても知り、自らワークショップを企画したり、補助をしたりできる。			◎	○							◎	○	○	○	△	△						
全学教育科目		1年次	ス	RDSP1301	スポーツプロモーション論	2	講義	①スポーツ・健康・体育について、その現況ととも概念定義について論じることができる。 ②スポーツが社会として扱われることについて、その意義を論じることができる。 ③スポーツプロモーションについて、自らの学習体験から記述・説明・説明することができる。	◎	○	◎	△	△					○	○	◎	◎	○								
全学教育科目		1年次	ス	RDSP1302	スポーツバーンシップ論	2	講義	スポーツには、社会生活を営む上での総合的な能力を養うための要素が数多く含まれていることについて学習する。加えて、その要素を身につけるための具体的な能力を身につける。	○	◎		○						◎	◎	○	○	○	○	○						
全学教育科目		1年次	ス	RDSP1303	スポーツマネジメント論	2	講義	①マネジメントデータ(スポーツ産業データの二次データ)を効果的に処理・活用し、考察できること。 ②今日のスポーツマネジメントの課題についてチームで熟議することが出来る、その内容を効果的に説明・訴求できること。 ③スポーツマネジメントについて専門的見地から説明・図解できること	◎	◎	◎	◎	○	○									○	○	○					
教育学部		1年次	ス	RDSP1304	スキー演習	2	演習	スキーを単なる遊びではなくスポーツ・運動文化として位置づけるとともに、科学的にスキーをとらえることで正しい技術の習得を目指す。また、初心者から上級者まで幅広いレベルを対象として、その指導法についても研修します。さらに、スキーなどのスポーツで観光の収益を上げている町づくりに関するスポーツプロモーションの立場で研修します	○	○	○			◎	◎	○								◎						
教育学部		1年次	ス	RDSP1305	体育・スポーツ測定学	2	講義	健康やスポーツ、学校体育に関連した体力とその測定について、研究を背景とした理論と正確な測定方法について学習する。加えて、行動体位の客観的測定と、各年齢対象の身体カプスタの実施を通し、詳細につながる能力も身につける。			◎	○	○		◎	◎	○					○								
教育学部		2年次	ス	RDSP2301	スポーツ栄養学	2	講義	スポーツにおける栄養・食事の重要性を理解する。 コンディショニング、競技向上を目的とした食事の実践方法を身につける。	△	◎	◎	○			◎	◎						◎								
教育学部		2年次	ス	RDSP2302	体育・スポーツ経営学	2	講義	体育・スポーツ経営学の基礎理論を修得することが到達目標となる。具体的には、体育・スポーツ経営の構造について図解し、それについて一定の論述が出来ることが求められる。併せて、体育・スポーツ経営学の研究課題についても志向出来ることと望まれる。			◎	◎	○		△		◎	○				○	○		◎					
教育学部		2年次	ス	RDSP2303	体育・スポーツ心理学	2	講義	体育・スポーツ心理学における基本的な理論や概念を理解することを目標とします。また、体育・スポーツの活動において心にも生じる現象を理論的な視点をもって観察できるようにすることを目標とします。	△		◎	◎										○	○	○						
教育学部		2年次	ス	RDSP2304	運動生理学	2	講義	保健体育教育者の必修の講義です。基礎理論養成課程、スポーツプロモーションとしての講義にのみならず、運動生理学は子どもの発達発達、加齢による機能退避現象、運動およびスポーツが身体に与える影響を理解するうえで極めて重要な分野です。特に保健体育、養護教諭の教員やスポーツ指導者、スポーツ施設で地域づくりに取り組む人にとっては必ず不可欠な知識です。身体活動が生体に及ぼす効果について理論面と機能面から学び、健康・長寿化の観点から身体活動がもたらす効果、競技向上やトレーニングの方法についての理解を深めよう。本授業では保健師、認定理学療法士、運動生理学の各分野における基本的理論について理解し、身体の各器官の働きや運動機能の応答と適応についての基礎的メカニズムを修得します。	◎	◎	◎	◎			○	○										○	△	○		
教育学部		2年次	ス	RDSP2305	運動生理学演習	2	演習	本授業は運動生理学講義で学んだことを実際に実験・測定をすることによりスポーツ科学の一面を理解し、学校体育および生涯教育における健康とスポーツに関する基礎的知識とその重要性について学ぶ。授業において実験機種の正確な操作、測定原理、測定目的の理解度を身に付ける。また、科学データの収集、分析する情報処理能力を高める。前期で学んだ運動生理学講義の内容を復習し、理解していることを確認し行う。						◎	◎	◎	◎			◎	◎	○	○	○	○					
教育学部		2～3年次	ス	RDSP2306	トレーニング論	2	演習	トレーニングの理論と方法を科学的に理解し、スポーツにおけるパフォーマンスを向上させる方法を学ぶ。また実際に各種トレーニングを実践することにより、その目的と効果を確認する。さらに、それら知識を活用して、対象となる個人や集団に対して適切なトレーニングプログラムを組むための能力を養う。				◎	○	○		○						◎	○							
教育学部		2～3年次	ス	RDSP2307	ニューススポーツ演習	2	演習	本演習はニューススポーツを体験しながら、誰にでも楽しめる生涯スポーツ(Sports for all)とその指導法について学んでいきます。また、さまざまなニーズに応えるニューススポーツを指導する立場から検討し、その改善などをディスカッションしながらニューススポーツの意義を深く理解していきます。							◎	◎														
教育学部		3年次	ス	RDSP3301	スポーツメンタルマネジメント	2	演習	チーム・個人に対して、心理的な課題を発見し、その課題を改善するためのプログラムを作成し、それを改善しながら、よりよいものにしていくよう活動を通して、PDCAサイクルを実践する。それらの課題より、課題の発見能力や解決能力に加え、判断力、決断力、表現力、コミュニケーション力なども身に付けることを目標とする。				◎	△			○	○	△	○	○	△	○	○							
教育学部		3年次	ス	RDSP3302	スポーツテーピング演習	2	演習	理論を踏まえ、実践を中心に基本から応用までの技術の習得を目指す。特に実践場での実践を重視し、スポーツの指導現場における安全管理、コンディショニングに生かす。				◎	◎			◎						○								
教育学部		3年次	ス	RDSP3303	体育・スポーツ社会学	2	講義	この講義では、受講生に応じた二つの目標を設定する。 1)スポーツ社会学に関する基本的な知識を修得すること。 2)文化としてのスポーツを生涯に学習させるための単元構成および学習指導案の作成を行う。	◎		○	○					△					◎	◎	◎						
教育学部		3年次	ス	RDSP3304	スポーツバイオメカニクス	2	演習	身体運動の仕組みをよりよく理解するための学際分野バイオメカニクスと呼ぶ。この分野は力学、機能解剖学、生理学など多くの分野が関係している。本講義ではバイオメカニクスの基本的な知識と研究手法について、特にスポーツに多く例をとって学ぶとともに分析手法のスキル向上も目指す。						◎									○	○						

令和3年度以降入学生用 カリキュラム・マップ

更新日 (令和3年3月4日更新)

地域創造学環 学環指定科目

学位		学士(文学)																													
付属情報				◎:特に重要な項目、○:重要な項目、△:望ましい項目																											
大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3	地域が関 連する社 会の問題・ 課題の一 つとして 「地域」に 関する学 習を行う ことがある	「地域」の 人・団体 ・専門家 等と関 係するこ とがある	「地域」が 関係する 社会の問 題・課題 解決のた めの基 礎的な知 識・スキル を身に つけること					
全学教育科目		1年次	必	RDCM1101	地域創造概論	2	講義	①地域の問題・課題を発見・解決するために必要な幅広い教養を身につける。(ウェイト20%)〔学習DP-A-1〕 ②地域の問題・課題を発見・解決するために必要な専門的知識の一部を身につける。(ウェイト10%)〔学習DP-A-2〕 ③現場と直接関わる人々から直接学ぶことで、地域の問題・課題を認識するとともに、その本質を理解することができる。(ウェイト30%)〔学習DP-C-1〕 ④地域と直接関わる人々から直接学ぶことで、地域の問題・課題に関する関心を高めるとともに、地域の問題・課題を認識することができる。(ウェイト30%)〔学習DP-E-1〕 ⑤地域社会の一員としての意識を持ち、多様な価値に基づいて地域や社会の発展のために行動するための素養と動機を身につける。(ウェイト20%)〔学習DP-E-2〕	◎	○	○				◎	△					△	◎	○	○							
全学教育科目		1年次	必	RDCM1102	フィールドワークⅠ	1	実習	フィールドワークⅠでは、地域の方々と交流を通して、「社会参入人」などの授業で学んだ調査技法、専門的な知識を用い、地域社会や施設などを理解し(地域課題・資源の発見)、それを報告会などで的確に報告できるようにすることを目標とする。〔学習DPA-1,学習DP-C-1,学習DPE-1〕	◎	○	△	◎	○	△	◎	○	△	○	○	○	△	○	○	△							
全学教育科目		2年次	必	RDCM2101	フィールドワークⅡA	1	実習	フィールドワークⅡでは、フィールドワークⅠで発見・整理した地域の課題、資源などについてより深く理解するために、地域の方々と意見交換を行い、地域のニーズの整合性を付けた上で、以降のフィールドワーク調査計画をグループ単位で立案し、それに従って、フィールドワークを行う。その際、専門科目で学んだ知識などを生かす。次年度のフィールドワークⅡBにおいて課題解決の提案や実践ができるよう段階まで地域社会や施設などについての理解を深めることを目標とする。〔学習DPA-2,学習DPB-1,学習DPC-2,学習DPD-2,学習DPE-2〕	○	◎	△	○	◎	△	○	◎	△	○	△	○	○	△	○	○	△						
全学教育科目		2年次	必	RDCM2102	フィールドワークⅡB	1	実習	フィールドワークⅡでは、フィールドワークⅠで発見・整理した地域の課題、資源などについてより深く理解するために、地域の方々と意見交換を行い、地域のニーズの整合性を付けた上で、以降のフィールドワーク調査計画をグループ単位で立案し、それに従って、フィールドワークを行う。その際、専門科目で学んだ知識などを生かす。次年度のフィールドワークⅡAにおいて課題解決の提案や実践ができるよう段階まで地域社会や施設などについての理解を深めることを目標とする。〔学習DPA-2,学習DPB-1,学習DPC-2,学習DPD-2,学習DPE-2〕	○	◎	△	○	◎	△	○	◎	△	○	△	○	○	△	○	○	△						
全学教育科目		3年次	必	RDCM3101	フィールドワークⅢA	1	実習	1)地域・施設の状態や課題、地域資源などの深い理解に基づき、問題解決のための計画立案・実践を行うことができる。〔学習DPA-3,学習DPB-3〕 2)FWの結果、FW計画に基づき、適切なFWを行うための準備を自らの判断で行うことができる。〔学習DPB-3〕 3)地域のニーズ、FWの結果等を踏まえて、FW計画を適切に修正し行動することができる。〔学習DPC-3〕 4)地域の人々・団体等と、意見交換、交渉なども含む適切なコミュニケーションができる。〔学習DPC-3,学習DPE-3〕	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○			
全学教育科目		3年次	必	RDCM3102	フィールドワークⅢB	1	実習	1)地域・施設の状態や課題、地域資源などの深い理解に基づき、問題解決のための計画立案・実践を行うことができる。〔学習DPA-3,学習DPB-3〕 2)FWの結果、FW計画に基づき、適切なFWを行うための準備を自らの判断で行うことができる。〔学習DPB-3〕 3)地域のニーズ、FWの結果等を踏まえて、FW計画を適切に修正し行動することができる。〔学習DPC-3〕 4)地域の人々・団体等と、意見交換、交渉なども含む適切なコミュニケーションができる。〔学習DPC-3,学習DPE-3〕 5)2年次のFW活動を踏まえて、その総括ができる。	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○			
全学教育科目		1年次	必	RDCM1103	地域創造演習Ⅰ	2	演習	①地域課題を発見・解決するための幅広い教養と体系的な専門的知識を身につける(ウェイト:20%)〔学習DP-A-1~3〕 ②地域課題を把握し、地域課題の解決に必要な情報やデータを専門的知識・手法により適切に調査・分析するとともに、結果を効果的に表現できる(20%)〔D-1~3〕 ③地域課題を発見するとともに、それを多面的に考察し、創造的な思考と論理的・総合的な判断により解決策を立案・立案できる(20%)〔D-1~2〕 ④自らの考えや判断の論理的かつ効果的に伝達するとともに、他者の発言等の要点的整理とらえ、意見の交換や調整ができる(20%)〔D-1~3〕 ⑤地域課題に積極的に関心をもち続け、社会のルールや規範を尊重するとともに、多様な価値に基づいて行動できる(20%)〔E-1~3〕	◎	○		△			○			○					○	△		◎					
全学教育科目		2年次	必	RDCM2103	地域創造演習ⅡA	2	演習	教室での学習(知識)と現場での実践(経験)との結合、および応用の展開をはかる	○	◎				○		○	△		○	○	○	◎	○								
全学教育科目		2年次	必	RDCM2104	地域創造演習ⅡB	2	演習	教室での学習(知識)と現場での実践(経験)との結合、および研究課題の展開を促す。	○	◎				○		○	△		○	○	○	◎	○								
全学教育科目		3年次	必	RDCM3103	地域創造演習ⅢA	2	演習	教室での学習(知識)と現場での実践(経験)との結合を深め、専門的視点も交えながら自身の学習テーマの展開を試みる。	○	◎				○		○	△		○	○	○	◎	○								
全学教育科目		3年次	必	RDCM3104	地域創造演習ⅢB	2	演習	教室での学習(知識)と現場での実践(経験)との結合を深め、専門的視点も交えながら自身の学習テーマの展開を図る。	○	◎				○		○	△		○	○	○	◎	○								
全学教育科目		4年次	必	RDCM4101	地域創造演習ⅣA	3	演習	・各自の学習テーマへの取り組みを卒業論文・制作としてまとめる作業を適切に実施できる。 ・発表会等において卒業論文・制作の途中経過を分かりやすく効果的にプレゼンテーションし、質疑に対し適切に回答することができる。	○	◎				○		○	△		○	○	○	◎	○								
全学教育科目		4年次	必	RDCM4102	地域創造演習ⅣB	3	演習	・各自の学習テーマへの取り組みを卒業論文・制作として完成させる作業を適切に実施できる。 ・発表会等において卒業論文・制作の成果を分かりやすく効果的にプレゼンテーションし、質疑に対し適切に回答することができる。	○	◎				○		○	△		○	○	○	◎	○								
全学教育科目		1年次	選必	RDCM1201	地域づくりの課題Ⅰ	2	講義	地域社会が抱えている様々な問題を発見し、利用可能な地域資源を探索するとともに、地域住民と連携して活力あふれた魅力的な地域社会の未来創造に取り組むための有益かつ専門的視座の基礎を学ぶ。	◎	○					○	○	○	○	○	○	○	◎									
全学教育科目		1年次	選必	RDCM1202	地域づくりの課題Ⅱ	2	講義	①復習から始まるフィールドワークが円滑に進むように、フィールドワークに向けての計画等の事前準備や実施後の評価を行い、フィールドワークの成果を共有する。 ②地域資源の活用策を学び、自身が選択したフィールドでの活かし方について考察する。	○	○	△	◎	○	○	◎							○									
全学教育科目		1年次	選必	RDCM1203	プレゼンテーション入門	2	講義	地域課題を発見し、課題解決に向けた活動の中でプレゼンテーション活動のその過程での議論や成果のアウトプットにおいて、コミュニケーションの一つとして必要となる、目的の活動にたい効果的に発信し伝えるための、地域課題に取り組む人は、そのスキルについて磨いていく必要がある。そこで、本授業では、実際の演習を通して様々な種類のプレゼンテーションを体系的に学び、効果的なプレゼンテーションができるようになることを目指す。	○	○		○	○	○		△		◎	△	△											
全学教育科目		1年次	選必	RDCM1204	ファンシテーション入門	2	講義	①企業や学校、地域コミュニティなど、集団による学習、問題解決、アイデア創造などの知的創造活動を支援するファンシテーションの可能性を理解し、ベースとなる基礎知識(心構えを含む)を習得する。 ②ファンシテーションの基礎技術、種々のデザインのスキル、対人関係のスキル、構造化のスキル、合意形成のスキルを総合的に身に付ける。 ③ワークショップ等の機会に自らファンシテーターとして担当を習得する。あるいは、多様な場面で管理した技術を活用できるようにする。	○	○										○	△	◎	◎								
人文社会科学部		1年次	選必	RDCM1205	社会調査入門	2	講義	地域社会の課題を発見するための技法であり、社会学、心理学、文化人類学などの研究手法である社会調査に関する基礎的なナラシを身につける。				◎	◎		△						○										
人文社会科学部		1年次	選必	RDCM1206	統計学Ⅰ	2	講義	記述統計学の基本について学習します。				◎	◎																		
全学教育科目		2~4年次	選択	RDAM2314	地域創造特論Ⅰ	2	講義	世の中のさまざまな課題に対して、先人の知恵を生かす解決の糸口を見つける																							
全学教育科目		2~4年次	選択	RDAM2315	地域創造特論Ⅱ	2	講義	①地域活動環境の活動を通じて地域の問題・課題を理解する。 ②地域の問題・課題に対して、グループワークを通して解決策を立案できるようにする。 ③多様な価値観や活動を通じて、地域社会の一員として自己実現を図るようになる。																							
全学教育科目		2~4年次	選択	RDAM2316	地域創造特論Ⅲ	2	講義	地方都市では地域活性化の方法として情報発信が求められている。数ある地域活性化のやり方の中でなぜ情報発信なのか、パブリシティや広報を使った発信方法や情報発信するためのアイデア、企画の方法論を習得する。																							
全学教育科目		2~4年次	選択	RDAM2317	地域創造インターンシップⅠ	2	実習	【知識】企業・団体等(以下、「企業」という。)の組織活動に関する基礎的知識を習得する。 【能力】企業の業務、運営等に関する情報を的確に収集・分析し、課題を発見することができる。課題解決の方向性と手段について考えることができる。 【関心等】企業の組織活動の多様な社会的価値を理解し、共有する。	○						○	○	△	△	○	○	△	○	◎	○							
全学教育科目		2~4年次	選択	RDAM2318	地域創造インターンシップⅡ	2	実習	【知識】インターンシップ受入れ先企業・団体(以下、「企業等」という。)の業務・活動に関する基礎的知識を習得する。 【能力】企業等の業務・活動等に関する情報を的確に収集・分析し、課題を発見することができる。課題解決の方向性と手段について考えることができる。 【関心等】企業等の業務・活動について、その多様な社会的価値を理解し共有する。 計算ソフトを使って社会科学系データの初歩的な処理を行なうことができるようになることを目標とする。	○						○	○	○	○	○	○	△	○	◎	○							
人文社会科学部		1年次	サ	RDRS1301	社会科学情報処理	2	演習	計算ソフトを使って社会科学系データの初歩的な処理を行なうことができるようになることを目標とする。					○	◎																	
人文社会科学部		1年次	サ(ア)	RDRS1302	情報意匠論	2	講義	主に静岡県内を中心に文化芸術に係わる団体を授業に招き、各活動における現状と課題、今後の展開等をインタビュー形式で掘り起こしている貴重な機会となります。現場の息づかいを感じつつ、インタビューをするほうどういふのかも合わせて習得していきます。	○				○			△				○	◎	◎									
農学部		1年次	サ	RDRS1303	コミュニティ基礎論	1	講義	1)コミュニティにはどのようなものがあるか、どのような役割を担っているか、例示することができる。 2)人間の生活とコミュニティにはどのような関係があるか、どのような仕組みが進められているか、自分の言葉で語る事ができる。 3)自ら今後、コミュニティとどのように関わっていくか、コミュニティのうちどのような役割を担っていくか、自分の言葉で述べる事ができる。	○							◎				◎	◎	○	◎								

学位		学士(文学)		付属情報		◎:特に重要な項目、○:重要な項目、△:望ましい項目																									
大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3	地域が関 連する社 会の問題・課題 をテーマ としている	「地域」に フィールド ワークや 夏学期に 行くことが ある	「地域」の 人材リ ソース(外 部講師 等)を活 用するこ とがある	「地域」が 抱える問 題・課題 解決のた めの基本 的な知識・スキルを 身に付けること				
教育学部		2~4年次	ア	RDAM2313	音楽文化論	2	講義	(後藤担当) ①音楽(主にクラシック音楽)についての基礎的知識を身につけ、能動的に音楽を聴いたり音楽について考えたりできるようになる。(ウエイト40%) ②地域の音楽文化活動の発展の歴史を知り、どうしたら発展させるのかを自分たちの音楽活動で考えるようになる。(ウエイト30%) ③実際に音楽公演を行うためにはどのような準備や手続きが必要なのかを知り、自分なりに音楽公演を構想することで、魅力的な音楽公演とはどのようなものか、考えることができるようになる。(ウエイト30%) (宮坂担当) ①様々な音楽芸術を鑑賞することにより、教養を身につける。																							
人文社会科学部		3~4年次	ア	HSLX3309	アートマネジメント特論	2	講義	文化・芸術活動をを通して、「人はどうしたらもっと幸せになれるか」という根本的な問いに対して考える場として本授業を位置づけ、学生が主体となって運営に関わる。その方法として2020年7月、パブリック文化プログラムの採択団体へのインタビューを行う。また、本授業の気づきや体験を自分だけのものとして地域連携、ボランティア等、社会に還元することを心がけるものとする。	○	○		◎			△	◎	◎	△	○	◎	○	○	○	△							
人文社会科学部		3~4年次	ア	HSLX3307	文化施設管理運営演習	2	講義	・地域現場との豊富な関わりの中で、地域の問題・課題について多面的かつ論理的に考察し、その本質を理解することができる。 ・創造的な思考と論理的かつ総合的な判断により、地域問題・課題の具体的な解決策・対応策を企画・立案することができる。 ・多様な地域の人々に対し、自らの考えや判断を論理的かつ効果的に伝え、また、論文で効果的、印象的に表すことができる。 ・他者の意見や考えを真摯に傾聴するとともに、親和性を持って他者と意見交換や意見調整を行うことができる。 ・他者から多様な意見やアイデア、動機などを効果的に引き出し、話し合い等をより有意義なものにするための働きかけができる。	○	○	○	○			△	◎	◎	△	○	◎	○	○	○	○	△	○					
教育学部		3~4年次	ア	RDAM3307	書道フィールドワーク	2	演習	地域の人(主に児童生徒)を対象に、書字・書道や書字の機会を提供するための企画・準備を行う。実践結果をふまえて、「書字活動」の意義と可能性を考える。																							
教育学部		3~4年次	ア	RDAM3308	芸術鑑賞演習	2	演習	・近隣の文化施設で様々なジャンルの芸術作品を鑑賞の機会を兼ね、視点を獲得する。 ・芸術に関する知見を広げ、作品の魅力の伝えられる。	◎	◎	◎					△	△	△	△	○	○	○	○	△	△						
教育学部		3~4年次	ア	RDAM3309	ワークショップ演習	2	演習	①「ワークショップ」の定義を理解し、説明できる。 ②様々な芸術に活用分野への理解と知識を拡大する。 ③文化施設等で行われている普及事業についても知り、自らワークショップを企画したり、補助をしたりできる。																							
全学教育科目		1年次	ス	RDSP1301	スポーツプロモーション論	2	講義	①スポーツ・健康・体育について、その成り立ちと概念定義について論じることができる。 ②スポーツを文化として捉えることができ、その内容を論じることができる。 ③スポーツプロモーションについて、自らの考察枠組みから記述・説明・説明することができる。	◎	○	◎	△			△					◎	○	○	○	△							
全学教育科目		1年次	ス	RDSP1302	スポーツバーンシップ論	2	講義	スポーツには、社会生活を営む上での総合的な能力を養うための要素が数多く含まれていることについて学習する。加えて、その要素を身につけるための具体的な能力を身につける。	○	◎	◎	○							○	◎	○	○	○	○	○						
全学教育科目		1年次	ス	RDSP1303	スポーツマネジメント論	2	講義	①マネジメントデータ(スポーツ産業データの二次データ)を効果的に処理・活用し、考察できること。 ②今日のスポーツマネジメントの課題についてチームで動議することから出来、その内容を効果的に説明・訴求できること。 ③スポーツマネジメントについて専門的知識から説明・訴求できること。	◎	◎	◎	◎			○						○	○	○	○	○						
教育学部		1年次	ス	RDSP1304	スキー演習	2	演習	スキーを単なる遊びではなくスポーツ・運動文化として位置づけるとともに、科学的にスキーをとらえることで正しい技術の習得を目指します。初心者が安全にスキーを楽しむべくを履き、その理解に基づいて研鑽します。さらに、スキーなどのスポーツで観光の取組を上げ、観光促進についてもスポーツプロモーションの立場で研鑽します	○	○	○				◎	◎	○			○	○	○	○	○	◎						
教育学部		1年次	ス	RDSP1305	体育・スポーツ測定学	2	講義	健康やスポーツ、学校体育に関連した体力と測定について、研究を背景とした理論と正確な測定方法について学習する。加えて、行動体力の実践的測定と、各年齢対象の新体力テストの実施を通じ、詳細につながる能力も身につける。				○	○	○	◎	◎	○														
教育学部		2年次	ス	RDSP2301	スポーツ栄養学	2	講義	スポーツにおける栄養・食事の重要性を理解する。 コンディショニング、競技力向上を目的とした食事の栄養方法を身につける。 スポーツ活動の現場における栄養指導の現状を知る。	△	◎	◎	○	○				◎	◎	○												
教育学部		2年次	ス	RDSP2302	体育・スポーツ経営学	2	講義	体育・スポーツ経営学の基礎理論を修得することから到達目標となる。具体的には、体育・スポーツ経営の構造について図解し、それについて一定の論述が出来ることが求められる。併せて、体育・スポーツ経営学の研究課題についても志向出来るようになる。			◎	◎	○			◎	◎	○				○	○		◎						
教育学部		2年次	ス	RDSP2303	体育・スポーツ心理学	2	講義	体育・スポーツ心理学における基本的な理論や概念を理解することを目標とします。また、体育・スポーツの活動において心を生じる現象を理論的な視点をもって観察できるようになることを目標とします。	△			◎										○	○	○	○						
教育学部		2年次	ス	RDSP2304	運動生理学	2	講義	保健体育教育専修の必修の講義です。基礎理論養成課程、スポーツプロモーションとしての講義になります。運動生理学は子どもの体育発達、加齢による機能退縮現象、運動およびスポーツが身体に及ぼす影響を理解するうえで極めて重要な分野です。特に保健体育、養護体育の教員やスポーツ指導者、スポーツ選手、たまたたくを指導する人にとって必要不可欠な知識です。身体活動が生じるメカニズムについて理論と知識から学ぶ。健康の保持増進のために身体活動が果たす役割、競技力向上やトレーニングの方法に於ける理解を深めよう。本授業では解剖学、測定学および運動生理学の各分野における基本的理論について理解し、身体各器官の働きや運動機能の応答と適応についての基礎的メカニズムを修得します。	◎	◎	◎	◎		○	○								○	○	△	○	○				
教育学部		2年次	ス	RDSP2305	運動生理学演習	2	演習	本授業は運動生理学講義で学んだことを実際に実験、測定することによりスポーツ科学の一面を理解し、学校教育および生涯教育における健康とスポーツに関する基礎的研究とその重要性について学ぶ。授業において実験機器の正確な操作、測定原理、測定項目の理解度をもつ。また、科学データの収集、分析する情報処理能力を高める。前期で行った運動生理学演習での内容を理解していることを前提に行う。				○	◎	△			◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○						
教育学部		2~3年次	ス	RDSP2306	トレーニング論	2	演習	トレーニングの理論と方法を科学的に理解し、スポーツにおけるパフォーマンスを向上させる方法を学ぶ。また実際に各種トレーニングを実施することにより、その目的と効果を確認する。さらに、それらの知識を応用して、対象となる個人や集団に対して適切なトレーニング・プログラムを組むための能力を身に付ける。			◎	○	○										◎	○							
教育学部		2~3年次	ス	RDSP2307	ニュースポーツ演習	2	演習	本演習はニュースポーツを体験しながら、誰にでも楽しめる生涯スポーツ(Sports for all)とその指導法について学んでいきます。また、さまざまなニーズに応えるニュースポーツを指導者の立場から検討し、その改善点などをディスカッションしながらニュースポーツの意義を深く理解していきます。								◎	◎								○						
教育学部		3年次	ス	RDSP3301	スポーツメンタルマネジメント	2	演習	チーム・個人に対して、心理的な課題を発生し、その課題を改善するためのプログラムを作成し、それを改善しながら、よりよいものにしていくという活動を通して、PDCAサイクルを実践する。それらの活動により、課題の発見能力や解決能力が向上し、判断力、表現力、コミュニケーション力なども身に磨けることを目標とする。			◎		△			◎	○	○	△		○	○	△		○						
教育学部		3年次	ス	RDSP3302	スポーツテーピング演習	2	演習	理論を踏まえ、実践を中心に基本から応用までの技術の習得を目指す。特に実証面での実践を習得し、スポーツの指導現場における安全管理、コンディショニングに生かす。?			◎	○								◎				○							
教育学部		3年次	ス	RDSP3303	体育・スポーツ社会学	2	講義	この講義では、受講生に応じた二つの目標を設定する。 1)スポーツが社会においてどのような役割を担っているのか、またその分野について理解する。 2)文化としてのスポーツを生涯に学習するための単科履修および学習指導案の作成を行う。	◎			○				○		△		◎	◎	◎			○						
教育学部		3年次	ス	RDSP3304	スポーツバイオメカニクス	2	演習	身体運動の仕組みをよりよく理解するための学際分野を「バイオメカニクス」と呼ぶ。この分野は力学、機能解剖学、生理学など多くの分野が関係している。本講義ではバイオメカニクスの基本的な知識と研究手法について、特にスポーツに多岐として学ぶことにも分析方法のスキル向上も目指す。			◎			◎	△				○				◎	○							
人文社会科学部		3年次	ス	HSED3343	スポーツマーケティング論	2	講義	今日のスポーツは、文化価値として期待が高まっており、それは単に賞賛価値との交換に限らず、社会的価値を形成する文化財として発展しているといえる。ここに、スポーツ市場の形成・増進を促し、「文化としてのスポーツマーケティング」が希求される。本講義は、文化性を見失うことのないスポーツ市場の形成(スポーツマーケティング)について、提起したり説明できるようにすることを目的とする。			○	◎			○	○							○	○							
教育学部		3~4年次	ス	RDSP3306	スポーツ医学	2	講義	身体的、精神的あるいは社会的な健康を維持するために、スポーツ活動は不可欠であり、今後益々重要性が増していくと思われる。スポーツの多様化に伴い、それぞれの立場でのスポーツ活動の効用と障害について、医学的な面から理解してもらう。	○	◎													△		◎	△					
教育学部		3~4年次	ス	RDSP3307	コーチング論	2	講義	スポーツコーチングは、スポーツ指導者としてスポーツを安全に、正しく、楽しく指導するための基礎的な方法論である。スポーツを日本の生活に取り入れることによって豊かな人生を導かれることを広く定着させるとともに、仲間づくり、上手くなりたくない、強くなりたくないという欲求に応え、その実現に向けてサポートする能力を身に付ける。			○	△									◎	○	△	○	○						

地域創造学環 ディプロマ・ポリシー(DP)

地域創造学環は、現代の地域社会が抱えている様々な問題・課題に対処し、より活力にあふれ魅力的な地域社会の創造に取り組む人を育成するため、下記に示す知識、能力、態度を身につけるとともに、所定の期間在籍し、基準となる単位を修得した学生に卒業を認定し、学士(学術)の学位を授与する。

	学環DP	キーワード・要素	地域サステナビリティコース 地域経営分野DP	地域サステナビリティコース 地域共生分野DP	地域サステナビリティコース 地域環境・防災分野DP	アート&マネジメント コースDP	スポーツプロモーション コースDP	
知識	(A) 地域の問題・課題を発見・解決するために必要な幅広い教養と体系的な専門的知識を身につけている。	文理融合的教養 総合化された教養	(A-1) 地域の問題・課題を発見・解決するために必要な幅広い教養を身につけている。	(A-1) 地域社会の担い手として必要な、文化・社会・自然に関する幅広い教養を身につけている。	(A-1) 地域の環境や防災の担い手として必要な、文化・社会・自然に関する幅広い教養を身につけている。	(A-1) 地域社会の担い手として必要な、芸術・文化・社会・自然に関する幅広い教養を身につけ、それらを美術・デザイン及びアートマネジメントに関連する事項において知識探求することができる。	(A-1) 地域社会の担い手として必要な文化・社会・自然に関する幅広い教養を身につけ、それらをスポーツ・健康に関する事柄との関連において知識探求することができる。	
	(B) 地域資源(文化・社会・自然等)を理解し、地域の問題・課題の解決に必要な情報やデータ等を専門的知識・手法により適切に調査・分析・処理するとともに、その結果を効果的に表現することができる。	地域問題・課題に関する専門的知識 関連する基礎的学問に関する素養	(A-2) 地域の問題・課題を発見・解決するために必要な専門的知識を体系的に身につけている。 (A-3) 地域の問題・課題を発見・解決するために必要な基礎的学問に関する素養を有している。	(A-2) 地域の問題・課題を発見・解決するために必要な専門的知識を体系的に身につけている。 (A-3) 地域の問題・課題を発見・解決するために必要な基礎的学問に関する素養を有している。	(A-2) 環境や防災に関わる地域の問題・課題を発見・解決するために必要な専門的知識を体系的に身につけて (A-3) 環境や防災の問題・課題を正しくとらえるために必要な基礎的学問に関する素養を有している。	(A-2) 環境や防災に関わる地域の問題・課題を発見・解決するために必要な専門的知識・手法を用いて調査・分析することができる。 (A-3) アートないしはアートマネジメントの分野における基礎理論・技能に関する素養を有している。	(A-3) アートないしはアートマネジメントの分野において必要な専門的かつ応用性のある知識と技術を身につけて (A-3) アートないしはアートマネジメントの分野における基礎理論・技能に関する素養を有している。	(A-2) 地域で展開されるスポーツ・健康の課題を発見・解決するために必要な専門的知識を体系的に身につけて (A-3) 地域で展開されるスポーツ・健康の課題を発見・解決するために必要な基礎的学問に関する素養を有し
	(C) 地域が抱える問題・課題を発見するとともに、それを多面的に考察し、創造的な思考と論理的・総合的な判断により解決策を企画・立案することができる。またそれを地域社会の様々な主体との協働により実行することができる。	調査・情報収集力 分析・検証力 数量的スキル	(B-1) 地域資源を理解し、地域の問題・課題の解決に必要な情報やデータ等を調査・収集・分析することができる。	(B-1) 地域資源(文化・社会・自然等)を理解し、地域の問題・課題の解決に必要な情報やデータ等を専門的知識・手法を用いて調査・分析することができる。	(B-1) 地域資源(文化・社会・自然等)を理解し、地域の環境や防災にかかわる問題・課題の発見や解決に必要な情報・データ等を専門的知識・手法を用いて調査・分析することができる。	(B-1) 地域資源(文化・社会・自然等)を理解し、地域の環境や防災にかかわる問題・課題の発見や解決に必要な情報・データ等を専門的知識・手法を用いて調査・分析することができる。	(B-1) 地域資源(芸術・文化・社会・自然等)を理解し、地域の問題・課題の解決に必要な情報やデータ等を専門的知識・手法を用いて調査・分析することができる。	(B-1) 地域資源を理解し、地域課題の解決に必要なスポーツ・健康に関する情報やデータ等を専門的知識・手法を用いて調査・分析することができる。
	(D) 自らの考えや判断を論理的かつ効果的に伝達できるとともに、他者の発言等に真摯に傾聴してその要点を的確にとらえることができ、他者と自らの意見の交換や調整をすることができる。	情報リテラシー (情報処理) 文書表現力 デザイン力 実技表現力	(B-2) ICTを用いて、多様な情報やデータ等を自らの目的にそって効果的に処理・活用することができる。 (B-3) 分析・検討した情報やデータ等を専門的知識、手法を用いて分析・検討し、提示することができる。	(B-2) ICTを用いて、多様な情報やデータ等を自らの目的にそって効果的に処理・活用することができる。 (B-3) 調査・分析・処理した情報やデータ等を文章・図像・実技実演等により効果的・印象的に表現することができる。	(B-2) ICTを用いて、多様な情報やデータ等を自らの目的にそって効果的に処理・活用することができる。 (B-3) 調査・分析・処理した情報やデータ等を文章・図像・実技実演等により効果的・印象的に表現することができる。	(B-2) ICTを用いて、多様な情報やデータ等を自らの目的にそって効果的に処理・活用することができる。 (B-3) 調査・分析・処理した情報やデータ等を文章・図像・実技実演等により効果的・印象的に表現することができる。	(B-2) ICTを用いて、多様な情報やデータ等を自らの目的にそって効果的に処理・活用することができる。 (B-3) 調査・分析・処理した情報やデータ等を文章・視覚的表現により効果的・印象的に示すことができる。	(B-2) ICTを用いて、多様な情報やデータ等を自らの目的にそって効果的に処理・活用することができる。 (B-3) 調査・分析・処理した情報やデータ等を文章・図示・実技実演・作品等により効果的に表現することができる。
能力	(E) 地域の問題・課題に積極的に関心を持ち続け、社会のルールや規範を尊重するとともに、多様な価値に基づいて他者や社会の発展のために行動できる。	問題・課題発見力 多面的考察力 論理的思考力	(C-1) 現場と関わる中で地域の問題・課題を発見し、その本質を理解することができる。	(C-1) 地域現場との豊富な関わりの中で地域の問題・課題を発見し、多面的かつ論理的な考察により、その本質を理解することができる。	(C-1) 地域における環境や防災の問題・課題を発見し、多面的かつ論理的な考察により、その本質を理解することができる。	(C-1) 地域現場との豊富な関わりの中で、地域の問題・課題について多面的かつ論理的に考察し、その本質を理解することができる。	(C-1) 地域との豊富な関わりの中でスポーツ・健康の課題を発見し、多面的かつ論理的な考察により、その本質を理解することができる。	
	(A) 地域の問題・課題を発見・解決するために必要な幅広い教養と体系的な専門的知識を身につけている。	創造的思考力 企画・立案力	(C-2) 地域問題・課題の対応策を地域社会の様々な主体との協働に基づき、企画・立案することができる。	(C-2) 創造的な思考と論理的かつ総合的な判断により、地域問題・課題の具体的な解決策・対応策を企画・立案することができる。	(C-2) 創造的な思考と論理的かつ総合的な判断により、地域の環境や防災に関する問題・課題の具体的な解決策・対応策を企画・立案することができる。	(C-2) 創造的な思考と論理的かつ総合的な判断により、地域問題・課題の具体的な解決策・対応策を企画・立案することができる。	(C-2) 創造的な思考と論理的かつ総合的な判断により、地域で展開されるスポーツ・健康に関する課題の具体的な方策について、企画・立案することができる。	
	(B) 地域資源(文化・社会・自然等)を理解し、地域の問題・課題の解決に必要な情報やデータ等を専門的知識・手法により適切に調査・分析・処理するとともに、その結果を効果的に表現することができる。	問題解決力 実践力、協働力 マネジメント能力 プロモーション能力	(C-3) 地域問題・課題の解決策・対応策を地域社会の様々な主体との協働により効果的に実施・運営、ないしは促進・発展させることができる。	(C-3) 地域問題・課題の解決策・対応策を地域社会の様々な主体との協働により効果的に実施・運営、ないしは促進・発展させることができる。	(C-3) 地域の環境や防災に関する問題・課題の解決策・対応策を地域社会の様々な主体との協働により効果的に実施・運営、ないしは促進・発展させることができる。	(C-3) 地域問題・課題の解決策・対応策を地域社会の様々な主体との協働により効果的に実施・運営・管理、ないしは促進・発展させることができる。	(C-3) 地域問題・課題の解決策・対応策を地域社会の様々な主体との協働により効果的に実施・運営・管理、ないしは促進・発展させることができる。	(C-3) 地域課題の解決策を地域社会の様々な主体との協働により効果的に実施・発展させることができる。
	(C) 地域が抱える問題・課題を発見するとともに、それを多面的に考察し、創造的な思考と論理的・総合的な判断により解決策を企画・立案することができる。またそれを地域社会の様々な主体との協働により実行することができる。	伝達力 プレゼンテーション力	(D-1) 多種多様な地域の人々に対し、自らの考えや判断を効果的に伝えることができる。	(D-1) 多種多様な地域の人々に対し、自らの考えや判断を論理的かつ効果的に伝えることができる。	(D-1) 多種多様な地域の人々に対し、自らの考えや判断を論理的かつ効果的に伝えることができる。また、地域の環境や防災に関する問題・課題、あるいはそれに対する取り組みを広く広げる中に情報発信できる。	(D-1) 多種多様な地域の人々に対し、自らの考えや判断を論理的かつ効果的に伝え、また実技実演等により効果的・印象的に表すことができる。	(D-1) 多種多様な地域の人々に対し、自らの考えや判断を論理的かつ効果的に伝え、また文章・図示・実技実演・作品等により効果的に表現することができる。	(D-1) 多様な地域の人々に対し、自らの考えや判断を論理的に伝え、また、文章・図示・実技実演・作品等により効果的に表現することができる。
関心・意欲・態度	(B) 地域資源(文化・社会・自然等)を理解し、地域の問題・課題の解決に必要な情報やデータ等を専門的知識・手法により適切に調査・分析・処理するとともに、その結果を効果的に表現することができる。	傾聴力 親和力・共感力 コーディネート力	(D-2) 他者の意見や考えを尊重することができる。	(D-2) 他者の意見や考えを真摯に傾聴するとともに、親和性をもって他者と意見交換や意見調整を行うことができる。	(D-2) 他者の意見や考えを真摯に傾聴するとともに、親和性をもって他者と意見交換や意見調整を行うことができる。	(D-2) 他者の意見や考えを真摯に傾聴するとともに、親和性をもって他者と意見交換や意見調整を行うことができる。	(D-2) 他者の意見や考えを真摯に傾聴するとともに、親和性をもって他者と意見交換や意見調整を行うことができる。	
	(A) 地域の問題・課題を発見・解決するために必要な幅広い教養と体系的な専門的知識を身につけている。	意見や行動等を引き出す力 働きかけの力 ファシリテーション力	(D-3) 他者から多様な意見やアイデア、動機などを効果的に引き出し、話し合い等をより有益なものにするための働きかけができる。	(D-3) 他者から多様な意見やアイデア、動機などを効果的に引き出し、話し合い等をより有益なものにするための働きかけができる。	(D-3) 他者から多様な意見やアイデア、動機などを効果的に引き出し、話し合い等をより有益なものにするための働きかけができる。	(D-3) 他者から多様な意見やアイデア、動機などを効果的に引き出し、話し合い等をより有益なものにするための働きかけができる。	(D-3) 他者から多様な意見やアイデアなどを効果的に引き出し、話し合い等をより有益なものにするための働きかけができる。	
	(C) 地域が抱える問題・課題を発見するとともに、それを多面的に考察し、創造的な思考と論理的・総合的な判断により解決策を企画・立案することができる。またそれを地域社会の様々な主体との協働により実行することができる。	意欲・関心 向上心 生涯学習力	(E-1) 地域の問題・課題に積極的な関心を持ち続けることができる。	(E-1) 地域の問題・課題に積極的に関心を持ち、社会にでても学ぶ意欲を持続できる。	(E-1) 地域の環境や防災の問題・課題に自ら積極的に関心を持ち続け、卒業後もそれに取り組もうとする意欲を有している。	(E-1) 地域で展開される美術・デザイン及びアートプロジェクトの問題・課題に自ら積極的に関心を持ち続け、卒業後もそれに取り組もうとする意欲を有している。	(E-1) 地域で展開されるスポーツ・健康の課題に自ら積極的に関心を持ち続け、卒業後もそれに取り組もうとする意欲を有している。	(E-1) 地域で展開されるスポーツ・健康の課題に自ら積極的に関心を持ち続け、卒業後もそれに取り組もうとする意欲を有している。
	(D) 自らの考えや判断を論理的かつ効果的に伝達できるとともに、他者の発言等に真摯に傾聴してその要点を的確にとらえることができ、他者と自らの意見の交換や調整をすることができる。	規範性	(E-2) 地域社会の一員としての役割と責任を理解することができる。	(E-2) 既存の規範や所与のルールの問題点を見出し、地域の人々や社会の発展のために積極的に関与し、新しい価値を創造できる。	(E-2) 目的や目標のために自らを適切に律し、社会のルールや規範を尊重しつつ行動できる。	(E-2) 目的や目標のために自らを適切に律し、社会のルールや規範を尊重しつつ行動できる。	(E-2) 目的や目標のために自らを適切に律し、社会のルールや規範を尊重しつつ行動できる。	(E-2) 地域創造に資する目的・目標を適切に設定し、き、その実現に向け常に心身を整えようと自己管理するとともに、社会の規範やルールを尊重し行動または助言で
関心・意欲・態度	(E) 地域の問題・課題に積極的に関心を持ち続け、社会のルールや規範を尊重するとともに、多様な価値に基づいて他者や社会の発展のために行動できる。	多様な価値観 社会の発展	(E-3) 地域社会の一員としての意識を持ち、多様な価値に基づいて他者や地域社会の発展のために行動できる。	(E-3) 人間の尊厳と基本的人権を尊重する価値に基づいて行動し、他者に配慮しながら、社会の発展のために行動できる。	(E-3) 地域社会の一員としての意識を持ち、多様な価値に基づいて他者や地域社会の発展のために行動できる。	(E-3) 地域社会の一員としての意識を持ち、多様な価値観を認め、美術・デザイン及びアートマネジメントの活動を通じ他者や地域社会の発展のために行動できる。	(E-3) 地域社会の一員としての意識を持ち、多様な価値に基づいて他者や地域社会の発展のために行動できる。	